

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	AOI国際福祉専門学校
設置者名	学校法人AOI国際学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	2,035	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校事務局に「授業概要」を備え付け・閲覧及び配布

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	AOI国際福祉専門学校
設置者名	学校法人AOI国際学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務局に備え付け・閲覧及び配布

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日	法人の運営全般の 確認
非常勤	病院事務長	平成31年4月1日～ 令和4年3月31日	法人の運営全般の 確認
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	AOI国際福祉専門学校
設置者名	学校法人AOI国際学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの作成過程及び時期 <ul style="list-style-type: none"> 8月 教育課程(案)の内容を検討 9月 教育課程編成会議において審議 10月 授業計画(シラバス)の決定 ・シラバスの公表時期 11月 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学校事務局に「授業概要」を備え付け・閲覧及び配布</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則第9条に於いて教育課程、授業時数等について、及び全て履修することを定めている。 ・学則第12条の規定(成績評価及び認定)に基づき、授業科目の成績評価は、試験、学習状況、実習の成果等により学期末に行い、各科目の成績判定基準に基づき単位を認定している。 但し、各教科目中、出席時数が規定時数の3分の2に達しない者(介護実習等については、規定時数の5分の4に達しない者)は、その科目についての評価を受けることができない。 また必要と認めた場合は、追試・再試を行う。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。

下位1/4に該当する学生については補講をするなど適切な指導を行っている。

・成績評価の方法

成績評価(介護実習を含む)は、学習成績(定期試験)・実習状況・課題レポートの提出状況等を総合的に評価する。

・成績評価の基準

特A・A・B・C・Dの5段階とする。

特A	特優	90点以上
A	優	80点以上 89点以下
B	良	70点以上 79点以下
C	可	60点以上 69点以下
D	不可	59点以下

・各年度末に公表する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	「学生ガイドブック」を全学生に配布し周知すると共に、学校事務局に備え付け・閲覧及び配布
------------------	---

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定の方針</p> <p>超高齢社会を迎え、適切な介護を担う介護福祉士は広く社会から求められている。</p> <p>本校ではこのような社会のニーズを踏まえ、高齢者や障がいのある人の生活を精神面と機能面から支え、自らが社会の一員として参加し充実した生活を過ごせるサポートができる人材の育成を目指しています。</p> <p>本校の所定の課程を修了し、以下に示す知識・技能・問題解決能力を備えた者に専門士認定（卒業）の称号を付与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校介護福祉学科に2年以上在学し、定められた科目を履修した者 2. 学期末に実施される定期試験で、各科目（介護実習を含む）とも基準点に達しているもの者 3. 介護福祉学科を修了するにふさわしい人格見識と健全な精神を有していることが学科会議で判定された者 4. 定められた学費及び諸経費を納めた者 <p>卒業判定基準・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年終了時に、出席数を満たしている（介護実習も含む）こと。 ・成績判定基準に基づき全科目を総合判定し、卒業判定とする。 <p>卒業判定会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業判定基準に基づいて卒業判定資料を作成し判定会議を2月末に行う。 <p>卒業認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業判定会議の結果、卒業認定を行う。 ・3月上旬に、公表する。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	「学生ガイドブック」を全学生に配布し周知すると共に、 学校事務局に備え付け・閲覧及び配布

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	AOI国際福祉専門学校
設置者名	学校法人AOI国際学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
収支計算書又は損益計算書	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
財産目録	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
事業報告書	学校事務局に備え付け・閲覧・配布
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け・閲覧・配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門	介護福祉	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,125 単位時間/単位	1,480 単位時間/単位	195 単位時間/単位	450 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		125人	124人	5人	5人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 8月 教育課程（案）の内容を検討 9月 教育課程編成会議において審議 10月 授業計画（シラバス）の決定 11月 シラバスの公表
成績評価の基準・方法
（概要） ・学則第9条に於いて教育課程、授業時数等について、及び全て履修することを定めている。 ・学則第12条の規定（成績評価及び認定）に基づき、授業科目の成績評価は、試験、学習状況、実習の成果等により学期末に行い、各科目の成績判定基準に基づき単位を認定している。 但し、各教科目中、出席時数が規定時数の3分の2に達しない者（介護実習等については、規定時数の5分の4に達しない者）は、その科目についての評価を受けることができない。また必要と認めた場合は、追試・再試を行う。

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 各学年終了時に、出席数を満たしている（介護実習も含む）こと。 成績判定基準に基づき全科目を総合判定し、卒業・進級を認定する。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 授業科目については各科目担当教員が中心となり、C以上の評価が得られるように個別指導、補講等を行っている。 介護をより広く・深く習得するために展示会見学、ボランティア参加等積極的に行っている。 留学生に対しては、専門科目の理解を深めるためにカリキュラム外で介護の日本語の教育を行っている。また、日本語能力試験の受験も支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	39人 (90.7%)	4人 (9.3%)
(主な就職、業界等) 介護福祉事業の施設等			
(就職指導内容) 「就職指導」や「ビジネスマナー」、「社会常識」等の授業、卒業生来校による就職等セミナー。福祉機器展を見学。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格介護福祉士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128人	23人	18%
(中途退学の主な理由) 外国人留学生の在留期間更新が認められなかったため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員、生活指導教員を中心に面談等で相談に応じ、細かいケアを行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他 (年間)	備考 (任意記載事項)
介護福祉	100,000 円	660,000 円	160,000 円	その他の内訳 設備維持費 100,000/教材費 60,000
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
経済的支援を必要とする学生には、医療法人社団葵会及び葵会グループ外国人材育成奨学金、茨城県社会福祉協議会介護福祉士修学資金貸付制度、介護施設による奨学金制度等の案内及び申込支援を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aoi-fukushi.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自ら自己評価を行うとともに、企業・事業団体等が委員として参画する学校関係者評価を実施・公表し、評価結果に基づき学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人慶應義塾 塾監局	令和2年3月16日～ 令和4年5月31日	企業・事業団体等委員
社会福祉法人特別養護老人ホーム 事務長	令和2年3月16日～ 令和4年5月31日	企業・事業団体等委員
駐車場経営者	令和2年3月16日～ 令和4年5月31日	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aoi-fukushi.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aoi-fukushi.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	AOI国際福祉専門学校
設置者名	学校法人AOI国際学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。